

日経BP社の雑誌記事をパソコンから簡単に読める!

バックナンバー・ライブラリ

アカデミック版

日経BP記事検索サービス

サービスの概要

日経BPグループによる発行誌に掲載された記事の検索と閲覧ができるデータベースです。ビジネスやパソコン、デザイン・建築・エンタテインメントなど、さまざまな分野の専門性の高い記事が幅広く蓄積されています。

レポート作成時の資料として、就職活動の際の業界情報を集めるツールとしてご利用ください。

【収録内容】

- 日経BPグループが発行する主要雑誌のバックナンバー。
(休刊誌、誌名変更前の雑誌を含む。)
- 論文やレポートのサポートや就職活動の情報収集。
 - ・「パソコン スキルアップ講座」
 - ・「地域経済」(地方自治体の取り組みや地域で頑張る企業を都道府県別に紹介)など
- 企業や官公庁・地方自治体の発表するリリース

【アクセス方法】

[芸術文化情報センターのホームページ](#) >
データベース Data Base >
データベース一覧 >
『日経BP記事検索サービス』
からアクセスしてください。
※学内からのみアクセス可能です



検索方法①

① 検索窓にキーワードを入力するだけで、収録コンテンツを横断的に検索できます。検索対象を「雑誌記事」「プレスリリース」「辞書」のそれぞれで絞ることも可能。

② さらに詳細な検索を行いたい場合は、こちらをクリック。詳細検索については **検索方法②** を参照してください。

検索方法②

詳細検索画面では、検索方法を7つ(研究テーマ検索、エキスパート検索、会社名検索、雑誌発行日検索、論文・研究者検索、内容分類検索、用語検索)のうちから用途に合わせて利用できます。



【雑誌発行日検索画面】



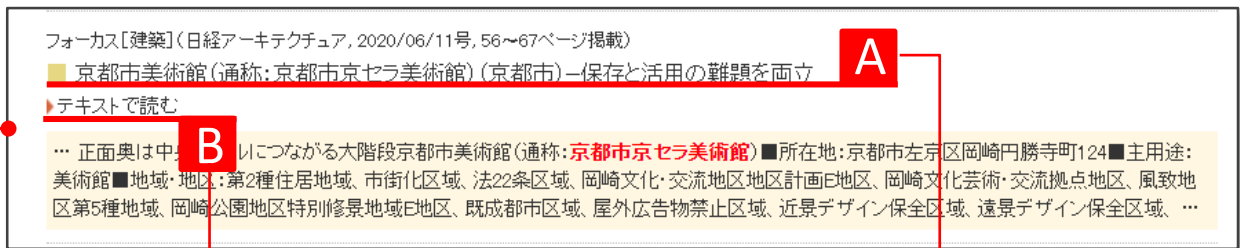
【エキスパート検索画面】

1. **エキスパート検索**：「キーワード」「記事発表日」「業種」「掲載メディア」をそれぞれ指定して、絞り込んだ上で検索できます。
2. **雑誌発行日検索**：雑誌記事を発行年月日から検索が可能。表紙が一覧で表示されるので、その号の特集なども確認できます。調べたい雑誌が明確な場合に便利です。
3. **内容分類検索**：700を超える記事のカテゴリ(政治・経済・社会/サービス・流通・生活・文化/情報システムなど)から検索できます。業界ごとに分類されているため、業界情報などの収集にも役立ちます。

検索結果画面/記事の表示

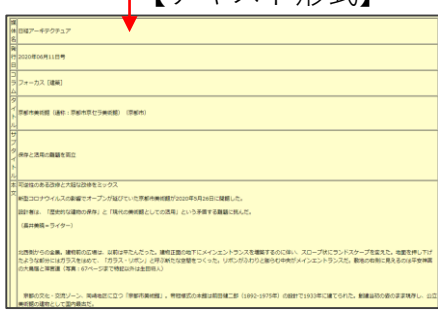


- ① 検索結果一覧からさらにキーワードで絞り込むことができます。絞り込む対象を「本文全文」、「記事タイトル」の2つから選択が可能です。
- ② 検索結果の内訳件数を「メディア」や「雑誌名・サービス名」、「内容分類」、「時期」に分けて確認できます。また各項目で絞り込むことができます。
- ③ 検索結果の表示(件数/表示形式)を切り替えられます。
- ④ 記事のタイトル、掲載誌、巻号、ページ数の確認ができます。記事のタイトルをクリックするとPDF形式で記事が表示されます。テキストだけを読みたい場合は、「テキストで読む」をクリックしてください。
 ※PDFはダウンロード・印刷が可能です。
 ※著作権法上、画像が表示されない場合があります。



【テキスト形式】

【PDF形式】



就活情報を収集する

各業界におけるビジネスの現在を調べることができます。「業界研究」「企業研究」「地域経済」など、就職活動の進み具合や方向性に応じて、必要な情報を集めてみましょう。

The screenshot shows the Nissei BP Article Search Service interface. At the top, there is a search bar with a '検索' (Search) button and a 'キーワードを複数指定できます' (You can specify multiple keywords) note. Below the search bar, there are navigation tabs: '論文・レポートを書く' (Write papers/reports), '就活情報を収集する' (Collect job information), and '動画で丸わかり! 活用ガイド' (Video guide!). The '就活情報を収集する' tab is highlighted with a red box and a red circle with the number '1'. Below the navigation bar, the main heading is '就活情報を収集する' (Collecting job information), also with a red circle '1'. Underneath, there is a brief introduction: 'さまざまな業界を幅広くカバーし、日々変化するビジネスの現場の情報をいち早く入手できます。『就活情報を収集する』の上手な使い方はこちらをお読みください。' (Cover a wide range of various industries, and you can get the latest information from the business现场 (現場) that changes every day. Please read here for the best way to use 'Collecting job information'). Below this, there are three main categories, each with a red circle number: '2' for '業界研究' (Industry Research), '3' for '企業研究' (Company Research), and '4' for '地域経済' (Regional Economy). Each category has a representative image and a short description. At the bottom, there is a yellow banner that says '企業や自治体などの最新情報を調べる(プレスリリース)' (Check the latest information on companies and local governments (press releases)).

- 1 ヘッダ内の『就活情報を収集する』をクリックするとページが表示されます。
- 2 **業界研究**：各業界の「旬」なテーマの記事を紹介。業界の最新の動向を確認できます。
- 3 **企業研究**：業種・企業名などからその企業または業種に関連の深い記事を絞り込んで検索できます。業界にどんな企業があるのか知りたいときにも活用してください。
- 4 **地域経済**：地域の企業にまつわる雑誌記事やプレスリリースを、都道府県別に紹介。調べたい都道府県名を選択すると表示できます。伝統技術や地域特性を活かした企業を調べたいときなどにも利用できます。

The screenshot shows the '地域経済' (Regional Economy) search interface. It features a map of Japan with various regions highlighted. Below the map, there are several dropdown menus for selecting a region. The regions listed are: 中国 (China), 北陸 (Hokuriku), 四国 (Shikoku), 九州・沖縄 (Kyushu/Okinawa), 北海道 (Hokkaido), 北海道・東北 (Hokkaido/Tokai), 関東 (Kanto), and 中部 (Chubu). Each region has a list of prefectures or cities associated with it. For example, under '北海道', the listed areas are 札幌 (Sapporo), 釧路 (Kushiro), 網走 (Aomori), 紋別 (Mombetsu), 稚内 (Tomamae), 山越 (Yamaguchi), 山形 (Yamagata), 宮城 (Miyagi), 秋田 (Akita), 岩手 (Iwate), 青森 (Aomori), 山梨 (Yamanashi), 長野 (Nagano), 群馬 (Gunma), 茨城 (Ibaraki), 栃木 (Tochigi), 埼玉 (Saitama), 千葉 (Chiba), 東京 (Tokyo), 神奈川 (Kanagawa), 埼玉 (Saitama), 群馬 (Gunma), 栃木 (Tochigi), 茨城 (Ibaraki), 千葉 (Chiba), 東京 (Tokyo), 神奈川 (Kanagawa).